

# 三方五湖周辺地域の 過去の降雨と水害



福井県は平成26年から27年にかけて三方五湖の五湖すべてでボーリング調査を行いました。この地域は降水量が多く、土砂災害の多い場所で、縄文時代の鳥浜貝塚も土砂災害にあい、5800年前には放棄されています。特に台風の時期に集中的に雨が降ります。今回は、世界の標準時計となった水月湖の年縞堆積物と日向湖の堆積物の分析でわかる過去200年までの降水記録と、過去の大洪水による周辺植物への影響を紹介します。



日時：平成29年 3月12日（日）午前9:00～12:00  
場所：三方青年の家 大研修室

■コーディネーター：

北川淳子（福井県里山里海湖研究所・主任研究員）

■研究報告

鈴木克明（東京大学・博士課程大学院生）

「歴史記録を超える気象台：

水月湖年縞に刻まれた洪水災害史の解読」

瀬戸浩二（島根大学汽水域研究センター・准教授）

「日向湖における古環境変遷史と

過去200年の降水履歴の復元」

北川淳子（福井県里山里海湖研究所・主任研究員）

「日向湖の堆積物に残る大水害の痕跡と

その植物への影響」

主催・お問合せ先：  
福井県里山里海湖研究所  
☎ 0770-45-3580  
申込み不要



三方青年の家  
(三方上中郡若狭町鳥浜)